

質問書回答

2016年5月10日

「(案件名)ウガンダ国保健インフラマネジメントを通じた保健サービス強化プロジェクトフェーズ2
(公示日:2016年4月13日/公示番号:160165)」について、質問の回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答(案)
1	業務指示書 19 ページ (7) 投入計画 21 ページ (15) 広報活動 26 ページ (9) (活動 1-2-3) 好事例 や教訓を共有するための機会の提供	事務所業務の備品経費として 150 万、広報活動費 100 万円/期、会場借上げ費 200,000 円/回とありますが、これらは本見積に含まなければならない金額でしょうか。	本見積の中に含んでください。
2	配布資料(1)RD 4 ページ 2-(1) Input by JICA (C) Machinery and Equipment, “-testing and calibration tools and equipment etc.”について	詳細計画策定結果のとおり「医療機材メンテナンスに係る試験・検査用機材」と想定いたしますが、現時点にてこれらの内容、仕様、数量および妥当性を検証するのは難しく、業務開始後に判断するものと考えております。 供与機材として見積書に含む必要がある場合は、計上金額などの指示をお願い致します。	現時点では想定していないため、見積は不要としますが、案件開始後に必要性が認められた場合は、契約変更も検討いたします。
3	業務指示書 19 頁 (5) 事務所のスペース	「保健省オフィス内にプロジェクト事務所を開設、整備する」とあり、R/D においても保健省側の投入として「Suitable office space with necessary equipment」とありますが、インターネット、固定電話、FAX、エアコンは設備されているとの理解でよろしいのでしょうか。また、それらの設備の使用料・維持管理費は、一般業務費に含めるべきでし	オフィスにはOA機器が設置されていない可能性がありますので、必要に応じ計上ください。 またインターネット回線についても同様に、設置されていない可能性がありますので、必要に応じ計上ください。 OA機器の維持管理費は一般業務費の見積も

		<p>ようか、それとも保健省負担としていただけるのでしょうか。</p>	<p>りに含めてください。</p>
4	<p>業務指示書 19 頁 (7) 投入計画</p>	<p>配布資料の詳細策定調査結果 19 頁(7) 投入(インプット)に日本側の投入として、「5S-CQI-TQM に必要な機材、医療機材メンテナンス等に係る試験・検査用機材等」との記載がありますが、業務指示書にはこれについての記載はありません。これらの機材についてはプロジェクトの直接経費(機材費)に含めるとの理解でよろしいでしょうか? それとも車両同様、JICA ウガンダ事務所が調達されるのでしょうか? また、これらの機材を機材費に含める場合、どの程度のレベルのメンテナンス機材を想定されているのかご教示ください(ハンダゴテ、デジタルマルチメータ、精密ドライバーをはじめとした一般電気作業用工具の供与なのか、それとも電気安全解析装置、除細動テスト、電気メステスタのような専門的な試験・検査用機材の供与を想定しているのか)。</p>	<p>現時点では想定していないため、見積は不要としますが、案件開始後に必要性が認められた場合は、契約変更も検討いたします。</p>
5	<p>業務指示書 19 頁 (7) 投入計画</p>	<p>フェーズ 1 のプロジェクト事業完了報告書、添付 4-1、機材供与リストによりますと、プロジェクトオフィス内にノートパソコン 6 台を供与したとの記録があります。2012 年に購入してから約 4 年が経過しておりますが、これらの機材の稼働状況、または継続して使用が可能かどうかをご教示ください。継続使用が困難な場合、ノートパソコンの購入を含めることは可能でしょうか?</p>	<p>購入から時間が経過しておりウイルス感染等の問題も想定されることから、継続した使用は不可とご理解ください。ノートパソコンの購入について、業務従事者が日常的に使用する、パソコン等の計上は認めません。「コンサルタント等契約における見積書作成ガイドライン」を参照ください。</p>

6	業務指示書 19 頁 (7)投入計画	フェーズ 1 のプロジェクト事業完了報告書、添付 4-1、機材供与リストによりますと、対象 RRH、GH、CWS、RWS のいくつかにパソコン計 26 台・プリンター17 台・プロジェクター9 台を供与したとの記録があります。フェーズ 2 でも同様に、これらの機材供与の必要性はございますか。あるとすれば、対象病院数と供与内容、またそれらの経費を機材費(直接経費)に含めるべきかをご教示ください。	詳細計画策定調査の様子から、全ての対象病院はパソコン、プリンター、プロジェクターを有していると判断したため、対象病院へのこれらの機材供与は不要です。
7	業務指示書 20 頁 (8)効果検証調査の実施	インパクト評価を行う場合にはケース群とコントロール群を分ける必要があるため、フェーズ 2 対象病院への介入時期を多少前後させて行うことは可能かご教示ください。	ご提案いただくことは妨げません。
8	業務指示書 20 頁 (10)無償資金協力との連携	無償資金協力「ウガンダ西部医療施設改善計画」について、JICA ホームページによりますと 2013 年 11 月に G/A が署名され、現在実施中となっています。この案件の進捗状況についてご教示いただけますか。当該案件の準備調査報告書によりますと、既にプロジェクトが完了していても良い時期と考えられますが、もしも完工していないのであればその理由をご教示いただけますか。	2015 年 12 月にソフトコンポーネントも含め、終了。
9	業務指示書 21 頁 (16)ローカルスタッフ	「研修マネジメントや各種業務調整・ロジ支援等を行うローカルスタッフの配置を認める」とありますが、研修マネジメント、各種業務調整・ロジ支援等の 1 名ずつの配置が認められるとの理解でよろしいでしょうか、それとも 1 人の配置ですべての業務を遂行することが想定されているのでしょうか。	ローカルスタッフについては、研修マネジメント、各種業務調整・ロジ支援等の 1 名ずつの配置でも、1 人の配置でもどちらでも構いません。ただし、上限を 2 名とします。

10	業務指示書 25 頁 (7)活動 1-2-1 5S ナショナルファシリテーターを対象としたリフレッシュ・トレーニングの実施	「研修及び巡回指導に係る交通費、日当・宿泊料は保健省が負担することとして」いる一方で、「保健省が負担できない場合に備え、研修時の日当・宿泊料については7,000 円/日、交通費 2,100 円/人を見積もること」とのご指示がありますが、巡回指導時においても、実際の保健省の負担が出来ない場合に備え、日当・宿泊料として 7,000 円/日、交通費 2,100 円/人を見積もることは認められますでしょうか。	ご提案いただくことは妨げません。
11	業務指示書 26 頁 (9)(活動 1-2-3)好事例や教訓を共有するための機会の提供	「会場借り上げ費として、200,000 円/回を見積もること」とありますが、この記述以外の研修や会議等に関しては、会場費についての記載がありません。研修や会議のための会場費用は、見積もりに含めることは可能でしょうか？	基本的に、活動 1-2-3 以外は各病院の会議室を使用することを想定しているため計上は不要です。
12	業務指示書 31 頁 (27)(活動 3-2-3)フェーズ 2 対象病院における 5S-CQI-TQM の研修	「(26)で研修を受けた 5S 地域ファシリテーターが講師となって、(25)の研修を受けた病院長等の支援を受けながら、各病院で 5S-CQI-TQ を導入・実践するためにスタッフを集めた研修を行う」とありますが、院内研修の支援について、ランチ・リフレッシュメントをプロジェクトで予算計上する必要はありますか？	リフレッシュメントについては、プロジェクトで予算計上頂いて構いません。ランチについては、日当に含まれていますので、計上は不要です。
13	業務指示書 38 頁 (25)(活動 3-2-3)フェーズ 2 対象病院における 5S-CQI-TQM の研修	「活動 3-2-2 で研修を受けた 5S 地域ファシリテーターが講師となって、活動 3-2-3 の研修を受けた病院長等の支援を受けながら、各病院で 5S-CQI-TQ を導入・実践するためにスタッフを集めた研修を行う」とありますが、院内研修の支援について、ランチ・リフレッシュメントをプロジェクト	同上とします。

		で予算計上する必要はありますか？	
14	業務指示書 38 頁 (26)(活動 3-2-5、3-2-6)フェーズ 2 対象病院における医療機材の適切な使用を目的とした UT 活動の実施、 UT による操作方法の研修	冒頭に「第 1 期と同様、活動 3-2-4 実施後」との記載がありますが、第 2 期では活動 3-2-4 に関する記載がありません。第 2 期においても、指示書 31 頁で示されている活動 3-2-4 のような活動(研修の実施)が予定されているのでしょうか。その場合、この活動の詳細(対象病院、対象者数、日数等)についてもご教示ください。	活動 3-2-4 は第 1 期のみの活動となります。詳細については、PO をご確認ください。
15	業務指示書 38-39 頁 (26)(活動 3-2-5、3-2-6)フェーズ 2 対象病院における医療機材の適切な使用を目的とした UT 活動の実施、 UT による操作方法の研修	「第 2 期では 3 回実施することとする」とのご指示ですが、この 3 回は、育成されたユーザートレーナーが各病院で UT 活動を行う回数か、TWG 及びコンサルタントが訪問する回数か、もしくは両方を想定されているのか、ご教示ください。	育成されたユーザートレーナーが各病院で UT 活動を行う回数を想定しています。TWG 及びコンサルタントが各病院を訪問する回数は、進捗状況等を考慮の上、第 2 期開始後に決定しますが、現段階では指示書のとおりに 3 回として下さい。
16	業務指示書 41 頁 (1)報告書 ワーク・プラン(第 1 期) 業務開始から約 1 か月後	左記で求められている業務開始後約 1 カ月後に提出することが想定されている“ワーク・プラン(第 1 期)”とは、同指示書 23 頁(1)ワーク・プラン(第 1 期案)の作成・合意、で述べられている JICA の確認後のワーク・プラン(第 1 期原案)の提出との理解でよろしいでしょうか、それとも第 1 期原案を基にウガンダ側関係者と協議、意見交換後に合意のとれたワーク・プランのことでしょうか。	第 1 期原案を基にウガンダ側関係者と協議、意見交換後に合意のとれたワーク・プランをご提出ください。
17	研修の講師謝金	研修の講師謝金(ナショナルファシリテーター、地域ファシリテーター、外部講師等)については、計上が認められますか。また、その場合基準額があ	研修の講義謝金については、1 講義あたり 20,000UGX として、計上ください。

		りますか。	
--	--	-------	--

以 上